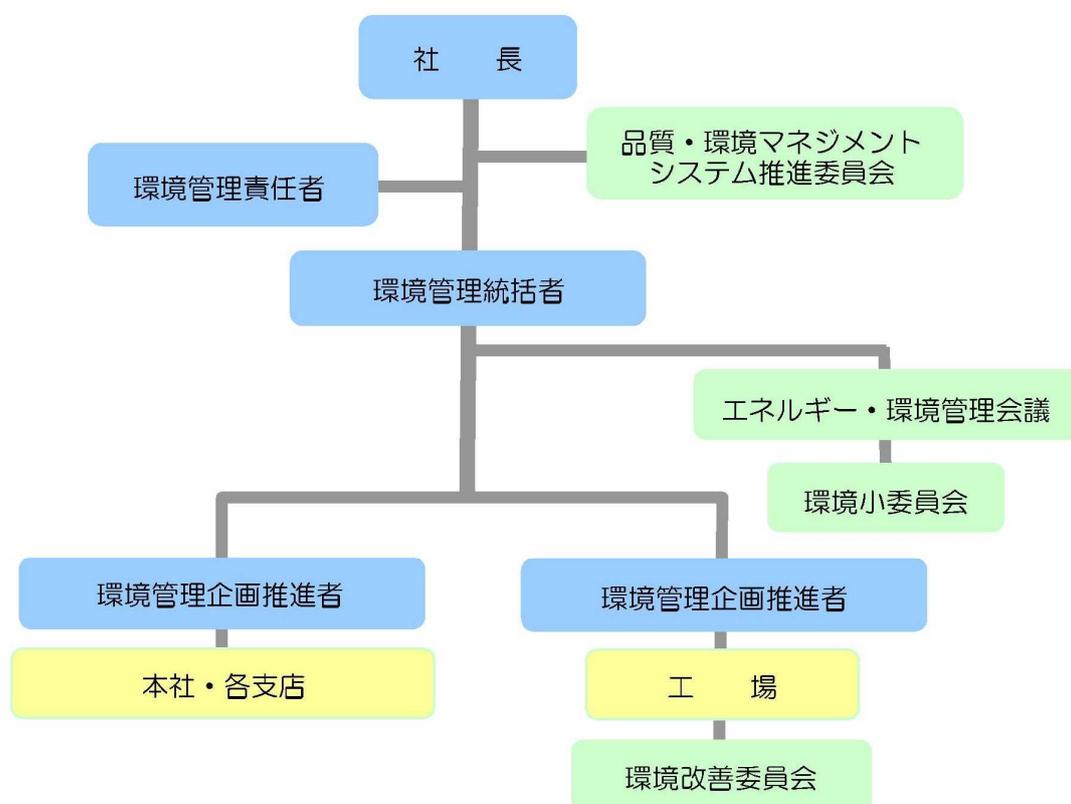


環境マネジメント

環境管理体制



●東京事業所の統合

2012年9月に東京の本社と辰巳オフィスを移転統合しました。

東京地区で、営業、技術、調達、管理、そしてサービス部門が、一つの事業所に集約された形で業務を行うことは、効率や日常のコミュニケーションの面からも長年の悲願でありました。

また、新しい本社では省エネ事務所を目指し、事務所天井灯にLED照明を採用し、テレビ会議システムも増やして事業所間の移動を減らしています。



【TV会議システムアドレス】

拠点名	会議室名	機器	備考
1 本社	221C会議室		
	321会議室		
	721A会議室		
	821会議室		
2 太田	第20会議室		
	第7会議室		
3 新内	第1会議室		
	第5会議室(TV_p)	POLYCOM	V:
4 GT	第3会議室(TV_s)	SONY(9/26導入)	PI
	第2会議室(TV_p)	POLYCOM	V:
5 ニコ精密	面談室(TV_s)	SONY	PI
6 トランス本社	会議室B(TV_s)	SONY	PI
7 トランス新潟	ミーティングルーム後(TV_s)	SONY	PI



環境方針

新潟原動機は地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、商品の開発、製造及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した企業活動の推進と、商品及びサービスを提供することにより、全員参加で次世代のため豊かな地球環境の保全に貢献することを環境の基本方針とする。

- (1) 省エネ・省資源を推進して環境負荷を低減する商品の開発・普及に努め、廃棄物の削減と資源のリサイクルに取り組むとともに、地球温暖化の防止に努めます。
- (2) 環境側面に関連する法規制及び地域社会との協定等を順守し、化学物質の管理とともに、環境負荷低減への継続的な改善を行い、環境汚染物質の流出防止のため予防処置を図ります。
- (3) 本環境方針及び環境改善活動に関しては、環境報告書等で社内外に情報を公開し、地域社会及び広く当社を取り巻く関係者との共生を図ります。
- (4) ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムを各部門で構築し、維持するとともに、このシステムが有効に機能するよう継続的に改善を行います。
- (5) 本環境方針と整合する環境目標の設定及びレビューのための仕組みとして各層において期毎に到達すべき目標を設定し、その目標の達成に向けて努力します。
- (6) 本環境方針を当社及び関連する会社の全員に理解させて環境意識の向上に努めるとともに、この方針を適切に持続するため定期的にレビューを行います。

環境マネジメント

環境目標

環境基本方針に基づき、生産部門においては生産活動における省エネや工数低減を主体に、前年度対比原単位当たりCO₂ 3%削減を環境目標に活動を展開しています。

また、本社・支店等の事務所部門においては、ムダエネルギーの排除、室内温度の適正化など環境意識の向上を図り、電気使用量1%削減目標で活動しています。

EMS活動

●内部監査 現地建設工事

H24年度は前年度監査の結果を反映し工場部門及び重点部署を選択し、合計17部署で品質・環境内部監査が行われました。写真は現地建設工事の内部監査風景を示します。

監査の課題としては、工事・工程管理、監視・測定項目、及び緊急事態への対応などについて確認を行いました。工事業者の力量評価、安全のためのKY活動、工事作業実施後の確認のチェックシート等の工程管理のための確認書類が整理して保管され、書類関係の管理は良好でした。

一部工事体制表に二次業者名が記載漏れしていたこと、計測記録に計測機器の管理番号が記載もれしていたので、改善をしていただきました。



●品質・環境内部監査員教育

今年度も4月24、25日の二日間にわたって、品質・環境内部監査員教育が行われました。ベテラン監査員19名に新人管理者7名を選抜し、合計26名で監査方針の確認、規格要求事項の確認、チェックシートの内容確認を行った後、模擬監査訓練を行いました。昨年度までの2年間は重点部署監査を行ってきたので、今年度は全部署35部署の監査を行い、QMS、EMSが有効に効果をあげているか確認することとしました。

当社は、この定期監査を12月までに完了し、その後は重点監視部署を設定して、品質保証室メンバーによる特別システム監査なども行っています。



写真 上:内部監査 現地建設工事の様子 下:内部監査員教育の様子